

賞与支給額の増加傾向は継続も、半数で「変化なし」

研究員 林田 祐子

「第131回熊本県内企業業況判断調査」（2～9頁）の特別テーマとして、県内主要企業を対象に2024年度の夏季賞与の支給状況について調査を行った。以下はその結果である。

【調査概要】

1. 対象企業	県内主要企業 574社
2. 調査時点	2024年5月1日～5月17日
3. 回答状況	回答企業 216社

【調査結果の概要】

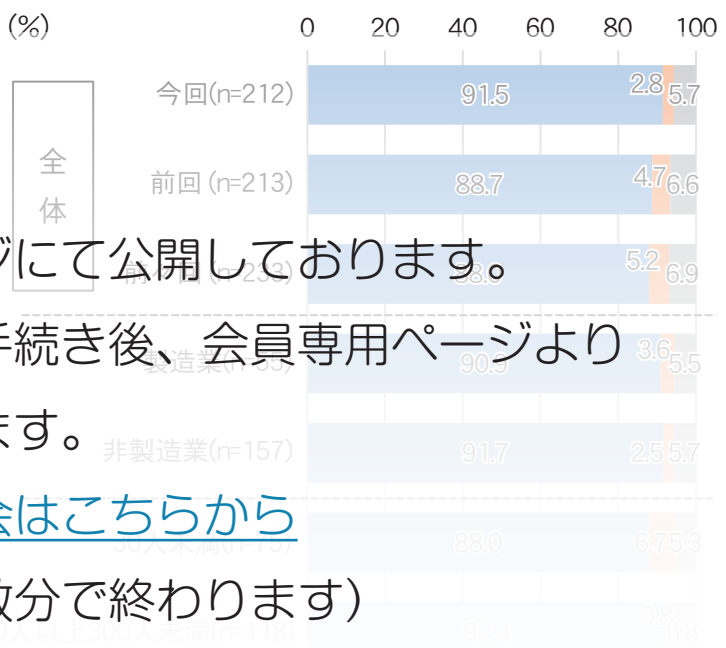
- 夏季賞与を「支給する（予定を含む）」企業は、91.5%（前年比+2.8p）と前年を上回った（図表1）。「支給する（予定を含む）」は、業種や従業員規模に関わらず高い割合となっている。
- 支給額の増減について、「増加」の割合は36.4%（同▲3.6p）と前年を下回るも、前々回と比べ高い割合であり、増加傾向は継続している（図表2）。
- 「変化なし」が52.2%（同+1.9p）と半数を超え、賃上げ（10～13頁参照）と比較して支給額増額は力強さに欠ける。
- 業況判断別では、支給額の増減に差が見られるものの、「業況悪い」と回答の企業でも「増加」の割合が2割を超えている（図表3）。

1 夏季賞与の支給

2024年度の夏季賞与の支給について、（%）
「支給する（予定を含む）」が91.5%（前年比+2.8p）に上る（図表1）。

業種別では、「支給する」の割合が、製造業で90.9%、非製造業で91.7%と大きな違いはない。また、従業員規模別では、「支給する」の割合が30人未満で92.4%、30人以上で90.0%と、従業員規模によって支給の割合が高くなっている。ただし、「支給する」の割合は、30人未満の企業においても8割を超えており、自由回答では、人材確保に向け夏季賞与の支給額を増やしている企業も増加している。

図表1 夏季賞与の支給予定



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)